

明るく住みよい健康な 地域社会をめざす 平岸南町内会

平岸7条16丁目(一部)~19丁目、西岡1条7丁目(一部)・8丁目(一部)/245世帯

みんなが活躍できる場所を町内につくろうと思っています。町内会ってボランティアだから、楽しくやらなくちゃダメだと思うのさ。うちの町内会はありがたいことに人材の宝庫。いろいろな趣味、経歴、特技をもった人がいる。どの町内会にも素晴らしい人材がきつと眠っていると思うよ。講師を頼んだり企画を考えてもらったりとみなさんの能力を活かしてもらっています。参加するほうも面白い体験ができて大喜びさ。そば打ちや書道教室、英会話レッスン……どれも会員の何かできる力を発掘した結果です。平岸南むつみ公園で100人で食べた茹でたてのそば、みんなおいしいおいしいって言ってたなあ。

会長になった8年前、何から始めようかと考えたとき、やっぱり毎日の生活のことからだと思いました。当初はごみステーションのマナーが悪くカラス被害も酷かった。そこでステーション全部に番号をふり、住民にどこに捨てたいか、どう改善したいか希望を聞くアンケートをした。そして町内会の班とは別に、最寄りのごみステーション・グループをつくることにした。自分たちのステーションだって意識が高まり、当番もばっちり協力してもらえるようになったよ。なによりごみを捨てにゆくと近くの人の会話が aument した。

町内会組織に限らず、何かあれば相手のところに行って話を聞き、現状を見て、相談して、できる範囲で対応することを私はモットーにしているの。ごみステーション整備も札幌市と相談し、助成を利用してずいぶん良くなった。町内の街灯49本のLED化も町内会の思い切った支出になったけれど、電気代・修繕代を市負担に移行でき、長い目で見たら負担が減った。役員が協力し合い、行政とも仲良くしながら前に進んできたんだよ。

「批判は謙虚に、称賛は惜しみなく」って言葉、私は好きでね。町内会にもさまざまな考えの人がいて苦勞もあるけれど、互いの良いところを認めながらやわらかくまとまっていければいいと思います。



会長
山崎 昭二さん

世代を超えてともに楽しく交流する町内会 緑風町内会

平岸7条14丁目(一部)、8条13丁目(一部)/70世帯

緑風という名のとおり、緑に包まれた環境のいいところ。望月寒川が流れ、月寒公園も近く、町内を歩くとなんとなく落ち着くよ。

私が会長になる前に、お二人の熱心な町内会長さんがおられ、町内のしくみや行事を整えてこられた。そのおかげで仲の良い町内会活動がいまも続いている。これまでの役員さんが一所懸命築いてくれた姿を見ているものだから、会長になるときは「自分もやるしかないな」と思ってね。若い世代に良いことを引き継いでゆこうと思いました。

うちは役員がすごく協力的。一所懸命な人が多くて助けられているんです。総務部長も50代で仕事もあるけれど、とても熱心。「緑風だより」や「防災だより」作成の中心になって町内会に情報を発信してくれます。私は若い役員たちの智恵を集めて、そこに乘っかかせてもらっているだけでね(笑)。班長さんが交代するタイミングで、引き続き役員の協力をお願いするのは私の役目です。口説き方がうまいのか、これまで何人も協力してくれました(笑)。男性はリタイア後に町内会活動を始めるのに対して、女性は忙しいながらも積極的に手伝ってくれます。緑風はパワフルな女性の力でもっていると言えるよ。

季節ごとの町内清掃活動には、半分以上の世帯が参加してくれます。子どももくっついてきて手伝ってくれる。嬉しいね。それから災害に備え、町内に立地する介護施設にお願いし、いざというとき高齢者の避難所として使わせてもらう契約をしています。最寄りの陵陽中まで避難するのは高齢者には厳しいからね。

今後町内会活動には、さらに若い人——高校生や中学生くらいがどんどん関わってくれたらいいな。かき回してくれるくらいにね。大人に期待されて若い人が、新しい考えと力をどんどん発揮してくれたら楽しいだろうね。

誰にとっても仲間というものがあったほうがいいなと思うよ。隣近所とのつながりが、住んでいる地域だけでなく世の中を楽しく安心なものにするんじゃないのかな。



会長
高須賀 國雄さん

高齢者に思いやりある町内会 朝日プラザ平岸台町内会

平岸7条14丁目1-7/110世帯

うちは入居者すべてが町内会に加入しているマンション町内会です。築37年ほどになるので、最初のころから入居している人のなかには、歩くのが不自由になった人、動けなくなってきたって人もだんだん増えていね。だからこそ高齢者をみんなで気にかけてあげたいと思っています。子どもから大人まで、思いやりある仲の良い町内会っていうのが自慢なの。

町内会って、私は仲良し会だと思っているんだよね。そして人と人とが助け合う会。それもあくまでもボランティア精神でね。私が町内会をする理由は、人と関わって仲良くなるのが一番の喜びだから。40年間教員をしていたのだけど、生徒に関わり、部活動でいっしょに汗を流すのが何よりも好きだった。人と何かをすることを、つらいなんて思ったことがないんだよね(笑)。きつとこれは15人兄弟の末っ子で周りみんなに育ててもらった経験が大きいんだね。人とわいわい過ごす楽しさを知っているの。

うちの町内会は、行事やサークル活動が盛んだよ。月に1回理事会(役員会)を開いてコミュニケーションを図っている。それに「ヨガ教室」や「いきいき運動教室」、「うたの会」といった趣味の活動を定期的に開催している。講師は住んでいる人の中から見つけたり、知り合いのつてだったり。毎回10~20人ほどがマンション内の集客室に集まって楽しそうに過ごしているのさ。30人ほど入る集客室がマンション内にあって、そこを使えるのが町内会が賑やかになる強みだね。

子どもたちの誕生会や小学1年生の新入学のお祝いにお菓子を配ったりもしていて、喜ばれているよ。若い世代に町内会を知ってもらうには、子どもたちに楽しい経験をしてもらうことからだね。子育て世代の親子を巻き込んで、世代を超えた交流をだいたいしたいね。



会長
石田 司さん

元気で、ふれあいある町内会 センチュリーハイム第三町内会

平岸7条14丁目2-12/50世帯

昭和57年にできたマンションなので、住んでいる方の年齢もだいぶあがってきましたね。住人の入れ替わりはありますが、小さな子どものいる世帯が少なくなりました。うちの町内会はどちらかといえば高齢者に少しでも喜んでもらえる活動にシフトしたくはないんだらうかと考えています。

町内会のたいせつな目的の一つは、弱者への支援・配慮、助け合いではないかと思うんです。一方的にしてあげるとい意味でなく、「何かあったらお願いね」と、お互いに言える関係づくりでしょうかね。ただ最近では個人情報保護の問題もあって、簡単には相手のことを知ってゆけない。悩ましい問題ですね。昨秋敬老のお祝いを70歳以上の方全員にお届けする事業がありまして、私も直接お会いして言葉を交わしたり、ポストにお届けしたりしたのです。このことで私自身が、相手とやりとりできてほつとしたと言いますか、わずかですがどんな方なのか把握できた感じがしたんです。

町内会の活動にはほかに、アサヒビール園での会員親睦会、敷地内花壇や道路の植樹ますの花植え、清掃作業などがあります。会費を払っていても事業になかなか参加できない人のなかには見返りがないと思う方もいるようです。みなさんに何かしら還元できることはないかと思っています。例えばマンションとしての災害時の備えや、感染症予防のためのマスク配布などができないかなと。

戸数の少ないマンションなので管理組合と町内会の役員を、特定の方に輪番で担っていただけてきました。会長になったばかりの私ですが、同じマンションに暮らしていても出会うことも少なくなっている現状で、あらためて顔の見えるおつきあいをだいたい活動したいと思っています。交流を望まない方に踏み込んで不愉快な思いをさせることはあってはならないですが、いまの時代だからこそ配慮あるつながりがたいせつなんじゃないでしょうかね。



会長
水野 四男さん